慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	故マルク・ブロック教授の歴史理論について : 遺著 歴史学のための弁明 の紹介 その一
Sub Title	The late professor Marc Bloch's theory of history: introduction to his posthumous work; "Apologie
	pour l'histoire" 1949. part I.
Author	渡邊, 国広
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1953
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.46, No.4 (1953. 4) ,p.298(78)- 309(89)
JaLC DOI	10.14991/001.19530401-0078
Abstract	
Notes	資料
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19530401-0078

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

とのととについて

92

告書を提出したが、その内容は共和國に對して非常に友好的で である。 **委員會とインドネシア側代表との會議の議長を務めたイギリス**目のイギリス軍の繼續的撤退、四、批判的な世界の興論、五、 、)。のキレアン卿(Lord Killearn)の電撃的影響、のキレアン卿(Lord Killearn)の電撃的影響、 あつた。二、オランダの經濟的行詰りの壓迫、三、 を長とする半官のオランダ使節團がジャヴァ内部を旅行して報 モークの努力は一應このリンガジャティ協定に實を結んだわけ いる。ともあれ、共和國、オラシダ間の長い交渉、シャリルと いる。二 次にこの協定の内容そのものの検討に移る。 >(Koets)

- $\widehat{\mathbf{j}}$
- 2
- 3
- 3
- 3
- (6), Mook; The Stakes of Democracy in Southeast
- (r) Ibid., p. 214.
- 8 Ibid., p. 118. and Wolf. op. cit., p. 37.
- 9 Wolf; op. cit., pp. 36, 37.
- Ibid., p. 38.
- Ibid., p. 40.

ャップに橋渡しをした諸要因は次のように指摘され ケツ博士(Dr.P.J. Koets) が擧げられて 十一月三十 (3) Ibid., p. 90. (의) Gerbrandy; op. cit., p. (4) Wolf; op. cit., p. 43.

Asia, p. 212. Cf. ibid. pp. 62, 63. Colliard; Question d' Indonésie, p. 9. Wolf; op. cit., p. 35 Gerbrandy; Wolf; Indonesian Story, p.32. Indonesia, p. 62.

事實を隅に投込んだのであつた。 であると同時に最も偶然的であると判斷した人間についての諸 社會學者達が歴史といふこの言葉のために場所を空けてゐると 除するやう要請される迄になってゐるし、又デュルケーム派の 間といふ一つの枠のなかにおいて、彼等にとつて合理的分析が 最も端に置いたに過ぎないのであつて、人間に關する様々な學 しても、然しその場合もこの言葉を人間に闘する様々な學問の 退屈させられる程である。語彙のうちからこの言 能と思はれること全部を社會學のなかに取纆め、 薬を完全に削 最も表面的

又如何に莫大な時間の浪費となることであらう。 ないとしたら、學問の領域において如何に多くの名前が作られ、 個人か社會若しくは一時的な危機の描寫か最も永續的な要素のが守り持かれなければならない。固より歴史といぶこの言葉は の發見物の一つ一つに對して新しい呼び名を探さなければなら に生きた言葉全部の運命であるといふほかなく、若し學問がそ った内容を持つて來たが、この點は如何なる國語においても眞 薬は今から二千年以上も前に人々の口に現はれ、爾來多くの違 ではゐないのであつて、最初の語原に從へば、「研究する」と 以て制限はしないし、又それ自體のうちに如何なる規定も含ん 追求かに力點を置くことになつてゐる研究の如何なる方向も前 いふこと以外の何事にも當嵌まらなかつた。歴史といふこの言 然し歴史といふこの言葉に對しては逆にその持つ最大の意味

ギリシャ人の輝かしいこの呼び方に大人しく忠實に止まりは ック教授の歴史理論について

> 歴史理論に 故マルク・ らい ブロック教授の

紹介 遺著「歴史學のための辯明」 0)

その

照を載くこととし、 氏が「歴史學研究」第一五一號において解説されてゐるから參 質に紹介して見たい。 られてゐるため一般に理解の非常に困難な本書の全體を逐次忠 て著者は歴史研究の正しい態度を説かうとするのである。 本書は同じ著者に依る方法論的反省であり、 尚本書の梗概並びにその成立事情に關しては旣に柴田三千雄 著者が經濟史家として我が國に紹介されてから既に久しい ここにおいては餘りに簡潔な佛語を以て綴 未完の小著にお

歴史家の選擇。

歴史といふ言葉は非常に古い言葉であり、屢々これに依つて

タイオスが書いた歴史ではない。然らば歴史とは何か。 レスの物理學でない如く、 ヴィソ卿やランジュ 今日歴史と ヴァンの物理學がアリス いる場合ミレト スのヘカ

者の選擇と同一ではなく、歴史家本來の選擇を行なふのであ った。そのために歴史家はすべての證據において例へば生物學 己の道具を適用すべき特別な事項を必然的に區別するやうにな けそれに從事することを許す如く、確定されたわけではない。 **覽表が一旦決定を見たならば、特許狀を持つた職人に對してだ** ろう。例へば邊境の神々の番人が「この學科若しくはそれを扱 確に限定することの出來る程慎重に取扱はれてゐないことであ 知識に對するあらゆる熱望のうちの最上のものを些かも受入れ **ふ態度は疑ひもなく魅力があるものかも知れない。然し……そ** うといふ意**圖も豪無しにしてしまふ。又定義の有害な危險は明** はない學問に對する熱望の微かな動きも研究の範圍を擴大しよ ないのであつて、研究の對象として未だ完全に決定したわけで えず苦しんで來たことはなかつた。寧ろ定義の過度の緻密さは もいはるべきそのやうに嚴密な歴史の定義を確定するために絕 決されるのではない。現に熱心な研究者の誰もが信仰の箇條と とにかく歴史家は無限なしかも混沌とせる現實に直面して自 れが歴史ではない」といつてゐるけれども、往時の職人組合長 、熟練職人に對して認められた仕事を明文化し、又仕事の一 然し問題は長くて嚴格な歴史の定義を確立することを以て解 正しい選擇に從ふことが歴史を研究する際の眞の態度でも

なけれびならないのであらうか。あつたのである。然らば歴史家は研究の對象として何を選擇

歴史と人間達。

。然しこれは誤つた言分である。 「歴史は過去のことについての學問である」と 屢々 い はゎ

第一、過去のことすべてに關する學問が存在するとでもいふにおける宇宙のことすべてに關する學問が存在するとでもいふとで多問の問題たらしめるのであらうか。若しくは現在の狀態に共通な特徴を持たない諸現象を豫め選分けることなく如何によせうな見解が不合理である。同時代物でなかつたといふ以外のか。

ない。この意味において太陽系を構成する星が常に我々の見るたける變化を扱ふすべての學問に對し歴史といふこの言葉を眞おける變化を扱ふすべての學問に對し歴史といふこの言葉を眞おける變化を扱ふすべての學問に對し歴史といふこの言葉を眞なかつた。彼等は唯一の關係が同時に起つたといふことであったのこと自體が誤争・條約・英雄や王の死と並んで日蝕・髱害・でのこと自體が誤争・條約・英雄や王の死と並んで日蝕・髱害・ない。この意味において太陽系を構成する星が常に我々の見るない。この意味において太陽系を構成する星が常に我々の見るない。この意味において太陽系を構成する星が常に我々の見るない。この意味において太陽系を構成する星が常に我々の見るといった。

但しそれ等は恐らく對象が若干の點において本來の歷史に特史がある。勿論それ等は歷史家の歷史に屬さない。てゐる。又地球の構造に最も密接な關係のある火山の噴火の歷星でない限り太陽系の歷史が存在し、天文學の領分に包括され

このことを多くの説明よりも明白に理解させるであらう。る。然らば實際に如何にして仕事の分擔を極めるのか。實例が有な研究と合致する限り歷史家にとつても重要性を 持って 來但しそれ等は恐らく對象が若干の點において本來の歷史に特

第十世紀にズェイソといふ深い入江がフランドルの海岸に食りするとしても、事實はがく簡単ではない。推動主が地質學を指においてこの現象の研究を引受けるべきか。誰もが地質學を指定するに遠ひない。堆積土の力・潮流の役割・水位における變においてこの現象の研究を引受けるべきか。誰もが地質學を指した。如何なる種類の學問目するとしても、事實はがく簡単ではない。

第一に、推移の原因を詮索しようとすれば、早くも地質學は 第一に、推移の原因を詮索しようとすれば、早くも地質學は 第一に、推移の原因を詮索しようとすれば、早くも地質學は

次に、結果の問題がある。入江の突當りから僅かなところに

都市が建設された。それがブルージュであつた。デルージュは 短かい河に依づてこの入江と繋がつてゐた。ズエインの水に依 短かい河に依づてこの入江と繋がつてゐた。ズエインの水に依 短かい河に依づてこの入江と繋がつてゐた。ズエインの水に依 短かい河に依づてこの入江と繋がつてゐた。ズエインの水に依 短かい河に依づてこの入江と繋がつてゐた。ズエインの水に依 をつて行つた。水面が後退するにつれてブルージュはその外港 の出口に到ることすら期待薄となり、徐々に衰退して行つた。 能かにそのことが到底ブルージュ衰退の唯一の原因とはなり得 なかつた。何故なら自然はその働らき掛けが明らかに人間に歸 なかった。何故なら自然はその働らき掛けが明らかに人間に歸 なかった。方ルージュは が最も有力なものと看做さるべきであらう。

又自己の必要から生活してゐる土地を改良した人間集團の努力は勝れて歷史的事實である。智易の有力な中心の盛襲も同様、市場の。 それ故に學問の在り方の甚だ特徴的な點は、一方に、二つの學問の協力が說明のための一切の努力にとつて必要である。 を判つたいづれにも包擬される部分があつたり、他方に、現象が説明された場合、しかもその結果のみが考察されることになが説明された場合、しかもその結果のみが考察されることにないば、現象のなかには或る程度において決定的に一つの學問が、一方に、元の學問に研究を委ねるといふ種類のものがあつたりする點にある。歷史の研究を無理にも促がしたのは誰であつたのか。人間がその出現に與つたのである。

故マルク・ブロック教授の歴史理論について事實ミシュレやフュステル・ド・クーランジュが教へたとこ

の多くは數學的規準に依つて表示することが出來ない。固よりる諸事實は、それ等の本質上極めて微妙な現象であり、これ等る學問においても言葉の美しさを必要とする。然し人間に關す嚴密な方程式には正確な文章と同樣に美がある。尤も如何な

表現することの出來ないものを誰もが完全に理解することは出表現することの出來ないものを誰もが完全に理解することは出表現との間における差違は滑面器を製作する職人の仕事と弦樂器を製作する職人の仕事との職人は精密を期するために機械を使用し、弦樂器を製作する職人は精密を期するために機械を使用し、弦樂器を製作する職人は情密を期するために機械を使用し、弦樂器を製作する職人は何よりも耳や指の感覺を賴りにするのである。滑面器を製作する職人は精密を期するために機械を使用し、弦樂器を製作する職人は何よりも耳や指の感覺を賴りにするのである。滑面器を製作する職人は何よりも耳や指の感覺を賴りにするのである。滑面器を製作する職人が弦樂器を製作する職人が溶面器を製作する職人が弦樂器を製作する職人が強強器を製作する職人の經驗本位に滿足することも法解表現と、言葉の業があるといふことに誰もが納得する筈である。 して、言葉の業があるといふことに誰もが納得する筈である。 して、言葉の業があるといふことに誰もが納得する筈である。

歴史における時間

の思想が呼吸する零閨氣は實に持續の時間であつたのである。言すべきであらう。歴史家は單に人間のみを考へない。歷史家は餘りに曖昧過ぎはしないか。時間のうちにおける人間達と附歴史は確かに人間達に關する學問であつた。然しこれのみで

四何なる學問も時間を考察外に置くことが出來ない。然し時間を約束に依つて人爲的な同一部分に區分する人々の多くにとの元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變はるために必要な敷砂・敷年若しくは敷世紀が原子の元素に變したこと、エルフルトの正統派の修道者がらウィッテンベルグの改革者となるためルターにとつて十五年を必要としたことを知つて滿足はしない。ゴールを征服に對しョーロッパ社とを動し如何なる歴史家も、シーザがゴールを征服するために八年を要したこと、エルフルトの正統派の修道者がらウィッテンベルグの改革者となるためルターにとつて十五年を必要としたことを型つて滿足はしない。ゴールの征服に對しョーロッパ社とを動し如何なる歴史家も、シーザがゴールを征服するために八における魂の危機が永遠な或るものを含むかも知れないといることを動かも否定しないとしても歴史家は、この危機に際し英における魂の危機が永遠な或るものを含むかも知れないといることを動かも否定しないとしても歴史家は、この危機に際し英における魂の危機が永遠な或るものを含むかも知れないといることを動かしまる。

然し現實の時間は本來連續物であり、同時に無限な變化に富

どうかといふ問題である。とうかといふ問題が生ずることが新しい方を把握する上に必要かのうち古い方を理解するこつの時期を考へた場合、これ等二つの時期を開題が生ずる。即ち歴史といふ學問の存在理由について明大な問題が生ずる。即ち歴史といふ學問の存在理由について明大な問題が生ずる。即ち歴史といふ學問の存在理由について明

起源の偶像

最も遠いものに依つて最も近いものを説明するといふことが があつた。 最も遠いものに依つて最も近いものを説明するといふことが があつた。 のでは自従を強制する迄して歴史の研究を支配した。歴史家の は自従を強制する迄して歴史の研究を支配した。歴史家の があった。

りする」と書いた。かかる觀念は確かに彼等の時代のものであブーブが「私は好奇心を以て最初のものを詮索したり取上げた起源は何よりも研究に値する」といった。又彼より前にサン・嘗てルナンが「人間達に關するすべてのことのなかにおいて

マルク・プロック教授の歴史理論について

て氣縣りな言葉である。出來ない。然し起源といふ言葉は非常に不明確であるため極める。起源といふ言葉も同樣であり、その派生語は數へることが

然しとの二つの意味の間で一般に非常に明瞭に氣附かれてゐて原因の研究に本來纏はる困難以上の困難はないであらう。おいても、一層甚だしくは疑ひもなく人間に關する學問におい起源に依つて誰もが逆に原因を考へるのか。如何なる場合に

あるのである。ここに曖昧な點があり、ここに危險な點がのである。更に惡いことには、すべてを說明するために十分ないだけに一層恐しい混同が屢々行なはれるのである。日常のないだけに一層恐しい混同が屢々行なはれるのである。日常の然しこの二つの意味の間で一般に非常に明瞭に氣附かれてゐ

ある研究に著手しなければならないであらう。一司祭に對しバ事物を説明させようといふかかる張迫觀念に關聯して最も興味聖書解釋學者の異常な努力において特に顯著な起源に依つて

八三、CHOID

では十分ではない。独作信經に一致は出来ない。へブラインスが「私は貴下の不安を領解することが出来ない。代のである。といった。といった。とれ等の嘲弄家達は我々に嘘をいつた。代のでは十分ではない。例故ならキリストの福音書は何を示すののであった。使徒信經に一致はポンショ・ピラトの管下にて苦めるからであり、最初の教理は實に出來事の上に組立てられたには十分ではない。何故ならキリストの神を信ずるためには内的感得を以て十分である。然しキリストの神たることを信ずるには十分ではない。何故ならキリスト教は本来歴史的な宗教であるからであり、最初の教理は實に出來事の上に組立てられたのであった。使徒信經に一我はポンショ・ピラトの管下にて苦めるからであり、最初の教理は實に出來事の上に組立てられたのあるがあった。使徒信經に一我はポンショ・ピラトの管下にて苦めるからであり、最初の教理は實に出來事の上に組立てられたの表の方であった。使徒信經に一我はポンショ・ピラトの管下にて苦めるからであり、最初の教理は實に出來事の上に組立てられたの表のであった。使徒信經に一致はポンショ・ピラトの管下にて苦めるからであり、最初の教理は實に出來事の上に組立てられたのである。信仰の始めはここにその基めがあったのである。

入若しくはノルマン人のイギリス征服が何を惹き起したとして な方法として存在理由を持ち得たかかる努力が研究の他の諸部 が方法として存在理由を持ち得たかかる努力が研究の他の諸部 でた政治の誤謬を指摘することであつた。然しゲルマン人の侵 に改治の誤謬を指摘することであつた。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 でた政治の誤謬を指摘することであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企てたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しゲルマン人の侵 では、同時に彼の企でたことであった。然しが研究の他の諸部 では、同時に彼の企びにないでは、といる態度が歴史の研究においても事物を判断するための確實

一つの極悪な敵―判斷癖―の變身に過ぎなかつたのである。場合におけるやうに、起源の悪魔は單に眞の歴史に逆らふもう。決定したりしょうといぶ意圖程積極的には役立たない。多くのも、現在を説明するために過去は現在を一層完全に證明したり

たにかくキリスト教の研究に戻らう。正しからんと欲して落 で説かれてゐるカトリック教に對する態度を決定するに足る史 を見出すことであり、又考察の對象として現在のカトリック を説明することであり、又考察の對象として現在のカトリック るためにその始めを理解することは別らかに不可敏ではあるが、説明する上に十分ではない。全く變らない信仰といふこのが、説明する上に十分ではない。全く變らない信仰といふこのが、説明する上に十分ではない。全く變らない信仰といふこのが、説明する上に十分ではない。全く變らない信仰といふこのが、説明する上に十分ではない。全く變らない信仰といふこのが、説明する上に十分ではない。全く變らない信仰といふことである。 に遭遇した場合においてのみ樹となり又樹でゐるといふことを に遭遇した場合においてのみ樹となり又樹でゐるといふことを に遭遇した場合においてのみ樹となり又樹でゐるといふことを にったったかといふことである。

てあた意味を附けた時、机は本來覆ひを、又切手は太皷を示して又何故起るかといふことを證明した時、全部をいつたと考へることは結局において被等の錯覺である。重大な問題は意味の轉化が如何にたといふことを證明した時、全部をいつたと考へることは結局において被等の錯覺である。重大な問題は意味の轉化が如何にたり時代の社會的狀態に依つで決定された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで決定された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで決定された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで決定された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで決定された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで決定された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで規制された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで規制された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで規制された役割を保ち得ない。その代り時代の社會的狀態に依つで規制された役割を保ち得ない。郵便事務の徐々に完成した場合に対して、例へば樂器商が自分の樂器の正し込を自慢した太皷との間にといる意味である。郷によび世界といる。郷によび世界といる。の記さなも、習慣に依つて區別である。とが確かに可能となるのである。

| | 故マルク・プロック教授の歴史理論について|| 「封建制度の起源」について人々は云々した。ことに封建制

でやうに借りものといふことにするとしても、思想傳播の歴史のやうに借りものといふことにするとしても、思想傳播の歴史に依つて前世紀のイギリスの諸事に固有な知識の内容や感情の表現をおが彼の言を正當と認みるが、但しイギリスの諸方式に對してなのがの諸原則を採用したことを意味しようとするのか。誰のイギリスの思想に由來することを信ずる」といつた。これに依つて前世紀のイギリスの諸事作を讀んだり若しくは直接それのイギリスの思想に由來することを信ずる」といつた。これに依つて前世紀の本の思想に由來することを信ずる」といつた。これに依つて前世紀の本の思想に由來することを言言しても、思想傳播の歴史が必ずの言言という。然しても、思想傳播の歴史が必ずの言言という。

ち種と繁殖時に必要は土地とである。にあつたからである。傳播は二つのことを前提として起る。卽交流が早くもなく遲くもない前述の時代に起つたかを知ることは完全に解明されはしないであらう。何故なら問題は常に何故

然し結局において歴史現象は時代の研究を除いて明確に理解然し結局において歴史現象は時代の研究を除いて明確に理解があった。

現在と過去との限界

の胃頭において「現在にだけ、現實にだけ止まらうと欲する人にある刮目すべき事柄のみを對象とした「民族」と題する勞作解決してゐたかの如く見えた。例へば先世紀にミシュレが眼前我々かち非常に近い時代迄實はこの問題が旣に大體のところ

い」ことを擧げた程であつた。 の理由として「現實は過去に依る以外決して完全に理解されな 起源は過去の事物のうちに見出される」といふことを加へ、そ プニッツは彼が歴史に期待した諸利益のなかに「現在の事物の プニッツは彼が歴史に期待した諸利益のなかに「現在の事物の

常に遠くに感ずるであらうといふことは何等の理由もないこと ととして、誰もが現在の人間達に關する重大な諮問題を理解し城に依つて影響される多くの人々にとつて自つと発がれないこ 電機を始動したり修理したりするために直流電氣に関するボル 術家全部の考へ方において本來的なものと思はれる過去を無視 ではなくなったのであった。祖先に依つて決定されることはな するといふこの態度に現代人の誰もが味方するやうになり、發 大したため、恐らく電氣や飛行機の時代の人間が彼の祖先を非 じく遠い過去のことは切捨てて差支えないといふ觀念に襲はれ するため、 過去のことを完全に説明しようとせず、現代人のこの態度に組 することが何の役にも立たないと信ずるのであった。歴史家も たりそれ等を解決しようと試みたりする上に以前のことを分析 トの舊い概念を研究することが必要でないと考へるやうに、機 くなつたと安直にしかも輕卒に現代人は結論してゐるし、又抜 然しライプニッツやミシュレ以後、大きな變化が 起っ てる いことがあるのであらうか。簣い經濟書の全部に現實の制度 即ち技術上の相繼ぐ革命は時代間の心理的間隔を過度に擴 如何にして自己の領域においても技術家の場合と同

れてはならないであらう。然として現實的なものであり、黴臭い過去のものとして斥けら然として出て來る硬貨制や金本位は今日の經濟學者にとつても依

時間の無限な經過のうちから狭い範圍の時代を別にすることが出來る。かかる時代は、その聞著點において我々の生活する時代と重なつてゐて、何事も卽ち社會や政治の狀態の最も顯著な特別である」といれ違を示ざないのであり、結局のところ我々にとつて「同じ時間の繋がり」であるかの如く見え、過去の他の時期と決して「同一視ざれてはならない。嘗て「一八三〇年以降は歴史ではない。それは政治である」といはれた。「一八三〇年以降が政治にある」といれない。す寧な表現をすれば、寧ろ社會學である。若しくは深く考へなければ、新聞の記事である。然し多くの人々が一九一四年以降一九四〇年迄は歴史ではないと進んで繰返すであらう。このやうに排除する理由については固より餘り明瞭には到つてゐない。

のである。このやうに考へることは實に我々が自己の感情を統神クリオを現實との非常に激しい接觸から一途に守らうとするであるから完全に除外されると考へる人々は、純潔な歴史の女然し我々から最も近い事實はすべての研究にとつて共通の敵

する結果となるであらう。
も同然であつて、現在を毛嫌ひする人々は勢ひ過去をも毛嫌ひと関連的尺度に依つては決定されないといふことを忘れてゐるの数學的尺度に依つては決定されないといふことを忘れてゐるの数學の表

他の人々は逆に人間の現在を學問的に完全に究明しなければ他の人々は逆に人間の現在を學問的に完全に究明しなければ、近古家の一團を死人の着物を脱がせる人々となり、立立、近年間を觀察することに依つて今日の經濟を分析し、金代異なつた學問に從事する人々の場合であつて、彼等は單になり、前者はなりである。從つて彼等は非常に遠い時代の歷史を精神の有害なり、前者は、一個の人々は逆に人間の現在を學問的に完全に究明しなければ、他の人々は逆に人間の現在を學問的に完全に究明しなければ、

過去に依る現在の理解

根據に基礎を置くものである。認められたこの特権は、詳細に觀察するならば、一聯の奇妙な現在に依つて現在を理解することが出來るといふ現在に對し

人間の地位は一・二代の間に非常に急速であるばかりでなく、

八七(三〇七)

ク・プロック教授の歴史理論について

の創造物にとつて固有な内部的な力を忘れたものである。出來るといふ現在に對し認められたかかる特權は、社會の多くじ變革を免かれなかつた。現在に依つて現在を理解することが的なものを保つて來た如何なる習慣も爐床や工場におけると同同時に全面的な變化を遂げた。非常に舊い制度と同じく、傳統

人間は終始人間を多少とも自發的な囚人たらしめた機械を製造する時代に到達した。ノール縣の農村を旅行した如何なる視察者も農地の奇妙な形に依つて驚かされなかつたか。所有地の容者も農地の奇妙な形に依つて驚かされなかつたか。所有地の容別時代の經過を通じて本來の姿として現はれた細分の狀態された革紐狀の耕地の光景は未だに今日においても農學者の間された単してゐる。このやうな配分が必要とする勞力で若干の論爭を殘してゐる。このやうな配分が必要とする勞力で若干の論爭を殘してゐる。このやうな配分が必要とする勞力で若干の論爭を殘してゐる。このやうな配分が必要とする勞力が必要とする勞力が必要とする勞力が必要とする勞力、經濟を見出し得たであらう。事實においてこの體制は今迄に、他學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を下すことの出來ない程遠い昔に溯るのでも學者が消足な説明を表示といるよりは響からいる。

するのである。つて害になるばかりでなく、現實において現在の理解を危ふくちに説明の失敗を招き、過去を無視することは現在の理解にとの開墾者に由來したのであつた。ぞれ故原因に對する誤解は直

にあることが必要である。

のなければならないばかりではない。更には時代間の推移が決定されるためには、變化に對して容易に順應する構造を持つ決定されるためには、變化に對して容易に順應する構造を持つ

例へばフランスの農村を考へよう。勞働條件がそこにおいて、して、多くの子達は祖父母の教訓に負ふとがにおいて傳統主義が特徴的なものとなるのであらう。然して、大人が模範となり、變化の有力な擔ひ手であつた先代を常に先先代が模範となり、變化の有力な擔ひ手であつた先代を常においては、一個へばフランスの農村を考へよう。勞働條件がそこにおいては、一個へばフランスの農村を考へよう。勞働條件がそこにおいて、

ようと思ならば、これ等の人々を彼等の時代の精神的零園氣にやうな人達を若し歴史家が理解しようとし、又人にも理解させ容易にした。過去の人々例へばルター、カルヴィン・ロヨラの疑ひもなく書物が非常に距つた時代間における思想の傳播を

を決定したり、一層正確には我々の問題ではなかつた意識の問題 を決定したりした常時の時代環境のなかにおいて把えることが を決定したりした常時の時代環境のなかにおいて把えることが を決定したり、一層正確には我々の問題ではなかつた意識の問題

る。 確實な比較に依つて現在に對する眞の理解が得られるのであいものが、現在の理解にとつて無用であるとは限らない。寧ろしかも過去の事物のうち、現在に對し何等の影響も及ぼさな

て現在において把えることは人間の眞の理解にとつて不十分で性において少しも變つてゐないといふことは事實である。從つり、それが人間であるとは誰もいはない。確かに人間は多くのの人にないでは既に時間のなかに「變らない或るもの」があ

故マルク・ブロック教授の歴史理論についておいて把えることは人間の眞の理解にとつて不十分

いて容易に察知することが出來るのである。
る逞しい實力、無意識的に持つてゐる驚くべき氣力を人間につこともあるが然し如何なる場合においても盛上がることの出來あり、過去と比較することに依つてのみ一時的には影を潜める

(未完)